

キンボール 震災でW杯中止



日本のチームと試合をするW杯で優勝した
強豪のカナダチーム＝宝塚市小浜1丁目

92チーム再起の熱戦

直径1・22メートル、重さ約1キログラムの大きなボールを使うユニークなスポーツ「キンボール」の全国大会が12日、宝塚市で始まった。日本初開催となるはずだったワールドカップ(W杯)が、東日本大震災の影響で中止になったため、代わりの大会で、国内外から集まった92チームが熱戦を繰り広げた。

キンボールは、1986年にカナダで生まれたスポーツ。同時にボールが床に落ちないように、1チーム4人で3チームには97年に紹介され、国内の

宝塚・代替試合 強豪の技に歓声

愛好家は約10万人といわれる。今大会はジュニアやビギナー、一般など5部門に分かれ、13日まである。

宝塚W杯は、原発事故の影響で、各国の参加見送りが相次いで中止になった。代わりにフランスで10月にあったW杯で優勝したカナダ代表のほか、準優勝の日本や、韓国、中国の各代表チームが今大会に参戦。代表チームはいずれも12日の予選のみの限定出場だったが、会場の市立スポーツセンター総合体育館では、その圧倒的な動きやボールさばきに歓声があがった。

日本代表の奥田慎司主将(24)は「宝塚でW杯が開催できなかったのは残念。でも本場カナダチームの試合が見られて、いい刺激になったのではないかと話した。

13日は午前9時半から同体育館で決勝戦がある。

午前11時15分からは、カナダと日本、韓国、中国の各代表と全国大会チャンピオンの部の優勝チームによる「第1回キンボールスポーツパン・パシフィックカップ」がある。入場無料。(谷辺晃子)